

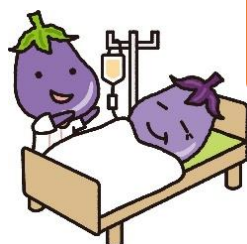
医療・介護フェス2025

安心と信頼の医療と介護 中央集会

地域包括ケアシステムの深化・推進に向けて
～医療・介護労働者のさらなる処遇改善を！～
をテーマに、医療・介護現場の『今』について議論します！
いのちを預かる仕事に見合う賃金について、一緒に考えてみませんか？

プログラム（予定）

- ◆講演
医療介護福祉政策研究フォーラム 中村 秀一 理事長
- ◆トークセッション
「医療・介護の現場にさらなる処遇改善を！」
- ◆アピール採択



YouTubeでも
ライブ配信します！



日時：5月17日（土） 13:00～16:00

会場：秋葉原コンベンションホール

（住所：東京都千代田区外神田1-18-13）

参加費：無料

事前のお申し込みは不要です。ご参加の方は、会場まで直接お越しください。また、フェスの模様をYouTubeでライブ配信します。右のQRコードからアクセスしていただき、ぜひご覧ください。



フェスに関する問い合わせ先：

連合本部生活福祉局 ☎ 03-5295-0523 E-mail:jtuc-seikatsu@sv.rengo-net.or.jp



「働きやすく」・「働きがい」のある職場改善に向けて、
取り組みましょう。

はたらくのそばで
ともに歩む
 連合

医療

医療人材の確保には さらなる処遇改善が必要！

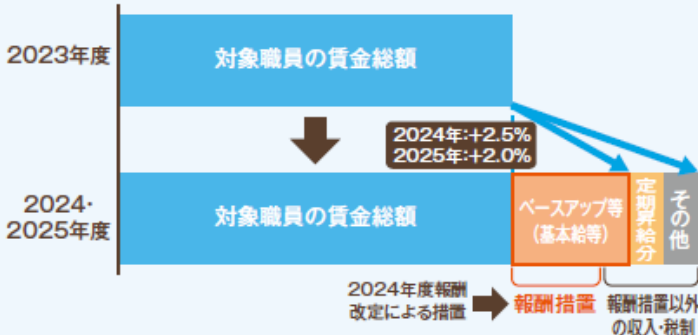
さらなる賃上げが必要

診療報酬では、2024年度+2.5%、2025年度+2.0%のベースアップをめざす改定がされましたが、他産業と比べると、十分ではありません。さらなる賃上げが必要です。

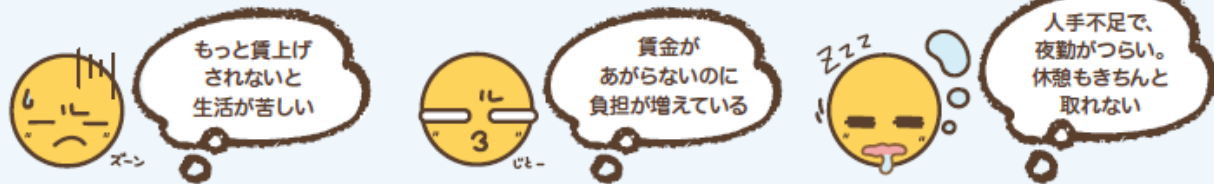
働き続けられる環境づくりを！

人員不足による夜勤の負担、休憩・休暇の取りづらさなどの課題もあります。医療現場で働くすべての人が働き続けられる環境づくりが不可欠です。

■ 診療報酬における 2024・2025 年度の賃上げイメージ



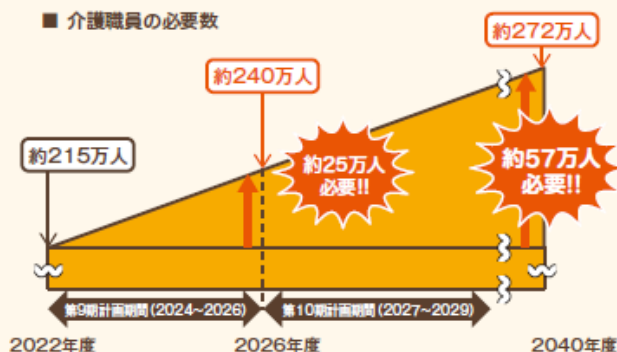
(出所:厚生労働省「2024年度診療報酬改定の概要」より連合作成)



介護

介護の質と量に対応できる 介護人材の処遇改善が急務！

■ 介護職員の必要数



介護の需要増に対して人材が不足

2040年には272万人の介護職員が必要とされています。しかし、有効求人倍率は職業計1.18に対して、介護関係職種は4.12と高い水準で推移し、人手不足が深刻です。
(出所:厚生労働省「一般職業紹介状況(2024年11月分)」)

全産業との格差が大きい賃金

介護報酬においても、診療報酬と同様に処遇改善をめざす改定が行われているものの、賃金は全産業の月平均36.9万円に対し、介護職員は30.0万円と格差が大きい状況です。
(出所:社会保障審議会介護保険部会116回資料)



職場で困ったことがあったらまずはご連合に相談を！

なんでも労働相談ホットライン

相談無料

秘密厳守

携帯・スマホOK

つくろう! はいろろう! 労働組合!



フリーダイヤル 0120-154-052

いこうよ れんごうに

なんでも労働相談ホットラインは通年で受付しています。

連合HP 労働相談

※受付時間は地域によって異なります。連合HP 組合づくり